

## 第2回高松市総合計画審議会

日時：平成27年9月25日（金） 午後7時30分～

場所：市役所13階 大会議室

### 次 第

1 開会

2 議題

(1) 第6次高松市総合計画（仮称）基本構想（案）について

(2) その他

3 閉会

第 6 次高松市総合計画（仮称）についての御意見等記載用紙

委員氏名

御意見等がある場合、欠席時はあらかじめ、又は会議開催後 1 週間以内に御提出ください。

送付先 〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号  
高松市役所・政策課（審議会・懇談会担当）  
TEL 839-2135 FAX 839-2125  
メールアドレス seisaku@city.takamatsu.lg.jp

## 第2回高松市総合計画審議会の流れ（予定）

日時：平成27年9月25日（金） 午後7時30分～

場所：市役所13階 大会議室

### 1 開会

### 2 議題

#### (1) 第6次高松市総合計画（仮称）基本構想（案）について（60分）

- ・ 事務局説明（5分）
- ・ 検討 基本構想のうち、まちづくりの目標について（55分）

※ まちづくりの目標ごとのグループ（4～5人×6グループ）に分かれて御協議いただきます。（グループの編成は、受付時にお知らせします。）

※ 御協議いただいた内容等は、第3回の資料にさせていただきます。

#### (2) その他

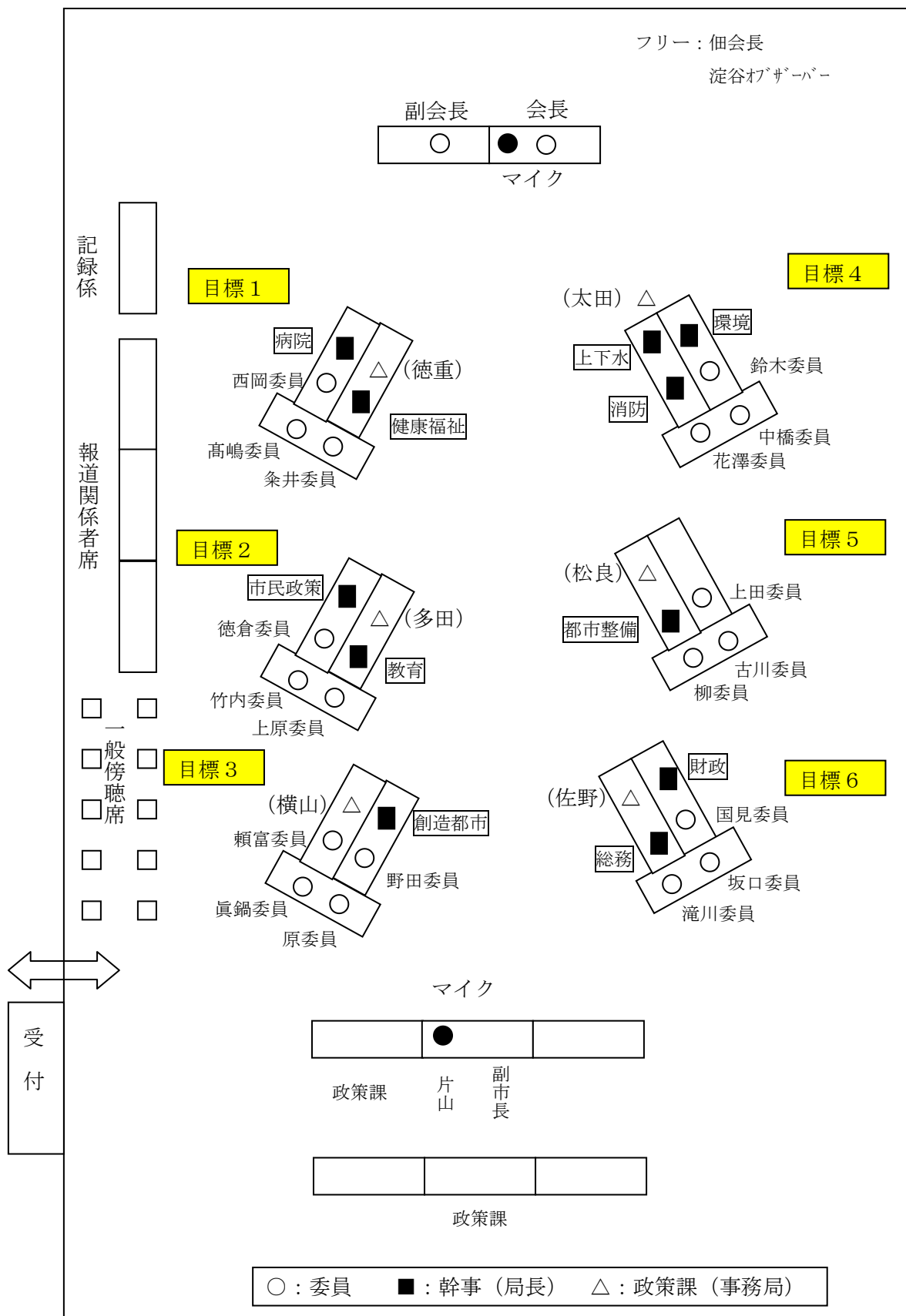
### 3 閉会

※ 第4回たかまつ創生総合戦略懇談会終了後、第2回高松市総合計画審議会を開催します。

第2回高松市総合計画審議会 席次

日時：9月25日 19:30～

場所：13階大会議室



欠席委員・・・ 桑村委員 佐野委員 白薊委員 藤本委員 槇田委員

高松市総合計画審議会 委員名簿(検討Gには、○印をつけています。)

	氏名	役職等	まち目1	まち目2	まち目3	まち目4	まち目5	まち目6	備考
会長	佃 昌道	高松大学 学長							フリー
副会長	野田 法子	高松市婦人団体連絡協議会 会長			○				
委員	上田 利枝	公募委員(一般社団法人 キラメキ社会福祉士事務所 代表理事)					○		
	上原 加代江	高松市PTA連絡協議会 相談役		○					
	国見 香須子	公募委員(アスパラ大騒ぎ実行委員会 主宰)						○	
	桑井 弘之	株式会社四国新聞社 執行役員 編集局長	○						
	桑村 美奈子	公募委員(地域イベントプロデューサー)							欠席
	坂口 祐	公募委員(デザイナー／物語を届けるしごと)						○	
	佐野 正	公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー 理事長							欠席
	白薊 敬三	株式会社香川銀行 執行役員 営業店統括部長							欠席
	鈴木 義博	日本労働組合総連合会香川県連合会 事務局長				○			
	高嶋 伸子	香川県立保健医療大学 教授	○						
	滝川 三郎	高松市コミュニティ協議会連合会 会長						○	
	竹内 麗子	一般社団法人香川経済同友会 副代表幹事		○					
	徳倉 康之	公募委員(株式会社ファミリーエ 代表取締役)		○					
	中橋 恵美子	NPO法人わははネット 理事長				○			
	西岡 敦子	高松市医師会 理事、女性医師部長	○						
	花澤 均	香川県農業協同組合 経営管理委員				○			
	原 真志	香川大学大学院地域マネジメント研究科 研究科長			○				
	藤本 実紗	四国運輸局企画観光部交通企画課 課長							欠席
	古川 康造	高松丸亀町商店街振興組合 理事長					○		
	楨田 實	高松商工会議所 常議員、地域振興委員会委員長							欠席
眞鍋 邦大	株式会社四国食べる通信 代表取締役			○					
柳 富夫	四国経済産業局産業部商業・流通・サービス産業課 課長					○			
頼富 俊哉	株式会社百十四銀行 執行役員 営業統括部長			○					
オブザーバー	淀谷 圭三郎	香川県政策部政策課 課長							フリー

委員計 3 3 4 3 3 3

高松市総合計画審議会 幹事名簿(関係施策のある「まちづくりの目標」にマーカーを、主たる検討Gに印をつけています。)

	氏名	役職	まち目1	まち目2	まち目3	まち目4	まち目5	まち目6
幹事	城下 正寿	市民政策局長		同席				
	小川 武彦	総務局長						同席
	外圍 暖	財政局長						同席
	田中 克幸	健康福祉局長	同席					
	合田 彰朝	環境局長				同席		
	宮武 寛	創造都市推進局長			同席			
	安藤 照文	都市整備局長					同席	
	高島 眞治	消防局長				同席		
	篠原 也寸志	病院局長	同席					
	細川 公紹	上下水道局長				同席		
	東原 利則	教育局長		同席				

幹事計 2 2 1 3 1 2

委員・幹事の合計 5 5 5 6 4 5

記録(政策課職員) 徳重 多田 横山 太田 松良 佐野

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
1 序論 (1頁～13頁)	3	大学進学後に帰ってこない若者に働き場所の確保やいい企業があってもそれを知ってもらえていないというようなお話があったと思います。13頁のまとめ「(6) 若者から選ばれるまちづくり」の内容が少し抽象的であるので、(5)の説明内にあるような「子育てするなら高松市」というように、そのあたりの内容をもう少し言語化して入れておくほうが入ってきやすいのではないかと感じました。人口減少や少子化問題にも関わってくるところなので大切だと思います。
1	4	各行政分野ごとの計画で、それぞれが構想を具体化し、戦略計画にするのではなく、それぞれが連携を図り無駄を省き戦略計画を作成していくことが大事ではないか。
1	10	・総合計画の基本的考え(1)～(7)のうち若い世代に関する(5)、(6)に特に注意することが望ましいと思います。 ・(7)に加えて元来自然災害が少ないことから、住みやすい地方として、県外からの移住者も充分期待できると思います。
1	11	総合計画策定に当たって、5次までの総合計画の高松市としての総括が全く見えません。少なくとも、何を重点にし何が不十分であったのかをきちんと見ていく必要があるのではないのでしょうか。
1	12	p1目的 市民ニーズに応えながら、・・・そのためには、・・・行政課題への的確なたいおうがひつようとなってきます。とありますが、行政だけが取り組むには限界があり、行政だけでなく「市民と共に」という文言の明記が必要だと思います。また、アンケート調査や懇談会という形の市民参加では限界があるのではないのでしょうか
1	14	6P 2行目加入・・・一方、雨天日が少なく平坦な市内地形・・・
1	15	・11Pからの財政状況について、締めくくりの部分は「健全な」「健全化」を目指す」と表記はされておりますが、具体的な数値目標が無いのが気になります。収入の減少が見込まれているので歳入・歳出の見込み数値を具体的に表す必要があるかと思ひます。(グラフ挿入予定で担保できるのであれば結構です。) ・13Pの基本的考え方の中で、「高松で働き続ける」という観点がかかなり弱いと思ひます。例えば(4)の健やかで心豊かに暮らせるまちづくりの中においてもう少し踏み込んで「新しい時代に即応した働き方を目指す」等を盛り込んで頂きたい。
1	19	1)まちづくり戦略計画、そして重点的・戦略的(p.2)と言うからには、限られた時間、予算、資源の下、選択と集中を行わないといけない。どのような「戦略」を選ぶのか?総合性に配慮しながら、戦略的に選び、具体的なイメージを提示しなくてはならない。迷った時に常に原点として戻って判断の基礎とできる考え方を設定していなければならない。もし、p.13がそうだというのなら、ここに産業面、経済面のものが一見、見当たらないのは、どうということか?高松市には産業戦略、それに関連した国際戦略が欠如しているのではないのか?
1	20	高松市都市計画マスタープラン、高松市総合都市交通計画、地域公共交通網形成計画では、「多核連携型コンパクトエコシティ」という考え方を示しているが、基本構想(原案)の記載と趣旨が十分合致していないように思われる。
1	23	これからのまちづくりのポイントは女性だと思うので、総合計画の基本的考え方の中に「女性」というワードを入れた方がいいと思う。

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
基本構想 (16頁～33頁)		
2	7	<p>【男女共同参画社会の形成】現状をよくすることも必要と感じるが若い世代から教育することが大事だと感じます。中学、高校より職業教育と共に伝えていく必要があると感じます。</p> <p>【社会を生き抜く力を育む教育の充実】高松市ならではの教育プログラムを入れる必要があると思います。他県に住む人からも支持されるようなプログラムがあれば、移住してくる人も増やせるのではないかと。学校単位ではなく市内の学校単位で進める必要があります。香川で活躍している人などに定期的に講演してもらおうなど、新しい生き方、一度香川を出ても戻ってくるきっかけにもなると思います。</p> <p>【3.産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち 政策1 地域を支える産業振興と産業の活性化】UターンやIターンなどの人の多くは起業している人が多くいます。そのような人をサポートできるような体制があればそれに伴い、移住も増え、後にその人たちからの雇用創出も期待することができます。</p> <p>【3.産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち 政策5 国際・国内交流の推進と定住の促進】移住フェアはどこの県でも開催していると思うのですが、香川らしいライフスタイルを伝える必要があると感じます。また、地域おこし協力隊で移住者を増やすことも大事だとは思いますが、協力隊は仕事ではないので、任期後のことも踏まえて考える必要があるのではないかと思います。</p>
2	10	<p>・P27 5、「環瀬戸内圏の中核都市としてふさわしいまち」政策3のなかで、サポート高松や他中心市街地の機能強化を図ることと記載されていますが、具体的にはどのような機能強化策を考えているのか？また、回遊性を高めていくのであれば、トキワ街の利・活用をどう考えているのか。</p> <p>映画館や保育施設の誘致、それに伴う駐車場の建設（立体駐車場）は考えていないのですか？</p> <p>考え方を教えてください。</p>
2	11	まちづくりの目標から施策の大綱とした流れについては理解できるが、そのあとに人口減少社会への対応の項が入るのは、唐突感があります。後にも先にも、ここにしかこの項は記載がなく、違和感を感じます。
2	12	3 まちづくりの目標 本市は・・・推進していきます。→「市民と共に推進していきます。」ではいかがでしょうか
2	15	19P・25P・活力と～の部分ですが、ここも序論と同じように「豊かさ」という部分にかんして言えば、貧困層をなくす取組がなければ文化振興は難しい、色々な方が働き続けられる都市を目指すあり方（岡山県総社市の障害者雇用なども含めて）、そして現状働いている人のWLBが取れる環境を目指すという観点を入れていく事が都市の差別化につながると感じます。
2	16	17P目標1 福祉の連携の下、子供の成長への支援など→「子どもの健やかな育ちの支援など」に変更してはどうか。 19P大綱1、もしくは12P大綱2内で、次代につなぐ支援、、、として、人口減少の中、若い世代が結婚しない、子どもを持たない選択をしているケースが増えていることから、福祉か教育の場でキャリアプランやキャリア教育に力を入れて、将来子どもを持つ、家庭を持つイメージを想像できる力を育てる。あるいは仕事と両立して子育てをする家庭生活をするというイメージが持てるような働きかけなどを、どこかに入れたいがどこがいいか…
2	18	超高齢社会への対応。労働可能年齢の延長。→元気で働く力（徳島県上勝町）→老人医療費の軽減
2	19	1) 6つの目標が重なり合うところに、重要な点があり、また解決の方法がある。そうした領域のクロスする部分への取り組み方を明記すべきである。2) 目指すべき都市像の「瀬戸の都・高松」とは、具体的にどんなものなのか？瀬戸内地域の中でどのような役割を高松市が果たそうというのか？高松らしさとは何か？目標1～6に書かれている論点は、一般論的であり、高松市の個別具体的な諸条件を踏まえたものであるのか、特性を最大限に活かそうとしたものになっているのかという意味では、不十分であり、具体的なイメージを結びにくい。
2	20	上記（高松市都市計画マスタープラン、高松市総合都市交通計画、地域公共交通網形成計画では、「多核連携型コンパクトエコシティ」という考え方を示しているが、基本構想（原案）の記載と趣旨が十分合致していないように思われる。）の関連で、p18の「多核連携型コンパクトエコシティ」が初出だと思われるが、説明が必要ではないか。 P27に都市交通のバリアフリーの視点が必要ではないか。モード間の乗り継ぎの円滑化・連携についても入れて欲しい。（p133には記載）
2	23	上述したこと（これからのまちづくりのポイントは女性だと思うので、総合計画の基本的考え方の中に「女性」というワードを入れた方がいいと思う。）に加え、男女共同参画ではなく、女性優先くらい書いてもいいと思っている。

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
3	3	<p>(124) 生活困窮者への自立支援について。これまで前職を含め生保受給者と関わってきた経験から、私の主観ですが若い受給者にだいたい共通することとして「生きていく力」に乏しい方が多いと感じました。社会性に乏しくとも就労は無理な方もいるのは事実ですが、人生には苦しいこともあり、「耐える(忍耐)」、「自分の力で子を食べさせていく」という気合、そういう気持ちを持って生きて行っていただけるように支援者はその方の本来持っている力に着目しそれを引き出す支援の中で、自己決定を支援できるように寄り添い支援をすることが必要だと思います。また生保家庭で育った子は親の苦勞を見ずに育ってしまう子中にはいると思います。このままでは将来、生保が生保を生みます。まず「生きていく」ということを分かっていた方がいいと思います。それには福祉の専門職(=社会福祉士や精神保健福祉士)の積極的な登用が必要です。また、生保の継続が続く方にはこちらから研修のような人生についての話を聞いていただくなど再教育のようなことも必要ではないでしょうか。そのような施策になるようにお願いします。また、一方で疾病、精神・知的障がい等で本当に生保が必要な方は積極的に助けてあげる必要があることを忘れてはいけませんのでそのあたりのバランスも盛り込んでいただくことも必要だと思います。</p>
3	4	放課後児童クラブのさらなる充実とともに(希望者全員受け入れ、小6まで)施設(校舎・校庭等)解放の弾力化も進めて頂きたい。
3	10	<p>・施策名:(112)子育て家庭への支援のなかで、放課後児童クラブ入会率にkPIを設定することも理解できますが、一方で、学童が増加中の小学校では、教員数が実態として不足しているように思えます。教員数がやや不足気味である理由は何にあるのでしょうか?</p> <p>・施策名:(132)医療体制の充実のなかで、現状市民病院の満足度は3.85点となっていますが、満点は何点ですか?また、3.85点の背景を教えてください。</p>
3	11	<p>施策132医療体制の課題に絞って意見を出しますが、総じて国の医療制度改革に関わって、市民の目線からはかけ離れた制度設計になっています。医療費抑制に重点を置く政策のため、市民が本当に通院したい大病院からは紹介がなければ多額の初診料を請求されますし、入院期間においても早期の退院を迫られるなど、患者・市民の意思は無視されます。そうした現状を正しく記載し、その前提でどういった医療体制をとるのか、もう少し市民の気持ちを汲んだ記述にすべきではないでしょうか。</p>
3	12	<p>子どもを生み育てやすいまち。生みの政策が見えない。生むための環境整備はありますが、生まれる前の若者の交流の場をつくる。その場は、婚活というあからさまではなく若者が共に作業したり、楽しんだりする仕掛けが必要かと思います。それはボランティア育成の場であってもいいと思います。イベント企画参加でもいいと思います。市行政は行政マンだけで行う時代ではないのでしょうか?。また、成果指標がなぜ1歳6か月健診かが分かりません。また、成果指標がアウトカム指標があまり見当たりません。131施策の成果指標は健康寿命でないですか</p>
3	14	生活困窮者への自立支援・・・民間支援センターに関しては触れないのでしょうか?
3	16	<p>38P 成果指数 子育て支援拠点設置数か利用者数の方がいいのでは?(あるだけでは意味がない)</p> <p>41P 地域包括ケアシステムの中に今後は子育て家庭包括ケアも含めていく必要があると思う。縦割りではなく、「家庭」まるごとをまさに包括してケアしていくシステムが必要なので、将来的にそういった含みをこのどこかで文言として加えられないか。</p> <p>45P 生活困窮の中に「ひとり親家庭」も、(重複するかもしれないが)「特別に配慮の必要な生活困窮者(子どもの貧困)」として、どこか文言で追加できないか。</p> <p>48P 健康づくりの中に若い人(10代後半か20代)が妊娠出産ができる体作りをするような言葉が盛り込めないか。過剰なダイエットや性交渉(性感染症)喫煙等で男子も女子も妊娠力が落ちていることから、どこかその支援ができないだろうか。</p>
3	17	<p>1.乳幼児健診の結果の関係者への伝達および対策等がシステムとして機能することが必要と思われる。</p> <p>2.親子が多支援機関においてばらばらに支援を受けていないだろうか。支援機関がつながり情報共有をすることが大切と思われる。</p>
3	19	<p>最下段参照</p> <p>2)高松市で取り組まれている関連することが、行政的に担当する部署が異なるため、あるいは現場で担当する機関が異なるために、効果を十分にあげることができず、もったいないことがあります。総合政策の推進の工夫として、6つの目標、さらに諸施策とブレークダウンしたものを、市の総合的な戦略から統合的な取組みに束ねる方向性を検討してはどうでしょうか?</p> <p>3)例えば、スポーツに関する取組みも、小学校、中学校、高校、社会人、高齢者など年齢別に区切られた機関が担当することから、各個人の一生から見た場合に最適な機会や指導が与えられていない問題があります。生涯にわたるライフパスと能力に応じた最適なスポーツ支援・指導の提供という観点から、統合的な政策のあり方を検討するというのも一つです。</p> <p>4)もうひとつの例としては、瀬戸内国際芸術祭のこれまでの成果のさらなる活用・進展は、あげられている諸施策に関連します。</p> <p>(321)文化芸術の振興だけでなく、クリエイティブな才能の発見・育成・教育という意味で、(111)子どもの成長への支援、(112)子育て家庭への支援、そこに高齢者や女性の才能を活かすという意味で(121)地域福祉の推進、(122)地域包括ケアシステムの構築の中の社会参加の拡充、(211)男女共同参画の推進、クリエイティブな教育という意味で(221)学校教育の充実、(222)学校教育環境の整備、(224)青少年の健全育成、(225)家庭・地域の教育力の向上、さらに大学や大学院でのクリエイティブ教育・研究の推進という意味で、(226)大学等高等教育の充実、社会人のクリエイティブ性の育成と活用という意味で(231)生涯学習の推進、アートをいかしたビジネスの振興・アートと製造業・商店街などのコラボレーションの推進という意味で(311)商工業の推進、食とアートの推進で(312)農林水産業の振興、アートのビジネス化・情報発信はさらに国際的に効果的に展開する必要があり、(313)特産品の育成・振興とブランド力の向上、など(後は省略)、さまざまな諸施策と関連します。こうした諸施策として実行されるものが何を統合的につくりあげるのかを明示化し、その統合的目標への貢献度を数値化すべきではないでしょうか。その際、施策相互の関係が整理され、縦割りの弊害を取り除く連携の工夫が求められます。総合戦略は、具体的諸施策の結果、何が実現されるのかの統合的な像をいくつか5~6つ、提示できるといいのではないのでしょうか?</p>
3	23	まちづくりの目標1に対応しているのが分かりにくい。以下同様。



## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
4	3	<p>(211) 男女共同参画の推進について。安心して子を産み育てるためには短時間労働の推進やその人のライフスタイルに合わせた働き方ができること、また若い世代の既婚女性を積極的に雇用する企業には補助金を出すなどの働きかけも必要だと思います。取組内にある'市が率先する'のは勿論、もう一步踏み込んだ形で女性の参画について明文化することが必要だと思います。(221) 学校教育の充実</p> <p>(225) 家庭地域の教育力の向上について。昨今の学校にまつわる出来事を耳にする中で学校と家庭の責任の所在が曖昧なところがあるのではないかと感じます。入学のときにでも家庭のことや躰については親の責任であること、学校でおきることは学校の責任であることについてもっと相互理解が必要で、お互いが協同して子どもを育てていくことを明確にしていく必要があるのではないかと感じます。勿論、取組方針内にもありますが、聞いている中で先生にも資質向上をお願いしたいと思うことはありますが、「このままでは学校の先生のなりたい」と思う人がいなくなり、根本的に厳しいことになるのではと危惧しています。弁護士や教育関係者等の有識者で第三者的な立場の機関に対応を相談できるような仕組みを作るといったような、市が現場の先生の応援ができるような施策も必要ではないでしょうか。</p>
4	4	<p>2-1-1取り組み方針③の生活上…母子家庭等の部分は父子家庭もあるので文言を考えた方がいいのでは。女性従業員・育休取得企業など企業の実態把握が必要では。</p> <p>2-2-1では教員の質の向上はもとより、講師ではなく正規教員数の充実が必要ではないか。2-2-2では実態に応じた計画(児童数の推移)が必要。2-2-4では、子ども会の実情(保護者・地域の現状)を理解し、子ども会本来の在り方を考える必要がある(現在は、子どもの会ではなく、保護者が中心に事業を行っている。本来ならば子どもが行う事業の手助けを保護者が行うべきではないか。)</p> <p>また、市Pが行っているメール連絡網などを利用した情報の早期共有(家庭・地域・行政など関係機関等)をし、安心・安全な環境作りの推進。また、子どもたちのインターネットに関するトラブルについては、学校での使用に関する教育の授業・講演会の回数を増やしていく、並びに、今後携帯・スマートフォン購入する児童(家庭)は、学校長の承認をキャリアに提出しなければ販売ができないなど、企業との協力体制の構築。</p> <p>2-2-5では、本当に、学校・家庭・地域が一体になれるようそれぞれの意識・認識の向上に努めるのが一番、特に保護者に意識改革・向上が急務。2-2-6では、漠然とした魅力ではなく、質(全国的なランク)の向上が必要。</p> <p>2-3-1以降では学校における低学年よりの意識付けが重要。</p>
4	5	<p>人育て、人づくりにおいて、自己中心的ではなく、安心、富、ゆたかさを他人と共有しようと思える人を育てることがポイント。またそれと共に、地域の年長者との絆づくり、食、文化、自然との交わりを強化。優秀な人材の流出を防ぐ。</p>
4	7	<p><b>【施策名：(211) 男女共同参画の推進】</b> 今後、女性の社会進出が高松で進んでいくと結婚、出産の時期にキャリアアップの時期が重なります。そうなったときにサポートできる体制が企業頼りになるのではなく市でサポートができると、長く住みたい場所になると感じます。また、優秀な女性は首都圏に多く出て行っているのではないかと感じます。そして女性に限っては一度出ていくと戻ってこないと感じます。香川では女性のNPO代表の方などは多くいらっしゃるのですが起業してビジネスをしている人はあまり多くいないのではないかと思います。女性で起業することはそこまで高いハードルではないので、モデルケースをたくさん作れば就職という選択ではなく新しい働き方の選択もできると思います。</p> <p><b>【施策名：(231) 生涯学習の推進】</b> 市内には特徴のある大学が少ないので市民が学べる市民大学でサポートができればよいと思います。市民大学などをすることでコミュニティ形成にもなり、若い人たちに運営を任せることでそこから出会いなども創出することが可能です。</p>
4	10	<p>・施策名：(224) 青少年の健全育成のなかで、世間から人気校区と言われている小学校でも子供会加入率が減少している話を聞きますが、その理由が解れば教えてください。また、どのような施策で持ち上げて行くのか、考えを教えてください。</p> <p>・施策名：(226) 大学等高等教育の充実のなかで、大学等入学生の市内出身者割合をKPIとしています。その為には、香川大学農学部には水産科等理料系の学部、学科の創設も必要に感じますが、高松市は、どのように考えていますか?教えてください。</p>
4	12	<p>226の目的で、大学の機能の強化し、魅力を向上。どんなふうな機能を強化してほしいのかが見えません。高松市が大学に望むことを示してください。高松市は大学次第という風に見えます。大学に望む研究課題を提示し、研究参加を募ってほしいです。また、成果指標が県内大学・短大・高等専門学校に比べて、消極的指標でないですか。望む機能強化を示す指標がほしいです。</p>
4	15	<p>P53 (211)男性の意識改革が必要と言う観点を盛り込んで頂きたい。また今月行われた内閣府の会議において若い世代(中高生)にむけてのキャリアデザインの必要性が議題に上がりました。次世代に向けての男女共同参画の啓発を進める方針も必要かと思えます。P54 成果指標については女性管理職の数値が必要かと思えます。</p>
4	17	<p>1.雇用側の管理者の男女共同参画に対する意識調査も必要と思われる。</p>
4	18	<p>子どもの安全、地域子ども会活動の推進、地域行事への積極的な参加</p>
4	19	<p>最下段参照</p> <p>2) 高松市で取り組まれている関連することが、行政的に担当する部署が異なるため、あるいは現場で担当する機関が異なるために、効果を十分にあげることができず、もったいないことがあります。総合政策の推進の工夫として、6つの目標、さらに諸施策とブレークダウンしたものを、市の総合的な戦略から統一的な取組みに束ねる方向性を検討してはどうでしょうか?</p> <p>3) 例えば、スポーツに関する取組みも、小学校、中学校、高校、社会人、高齢者など年齢別に区切られた機関が担当することから、各個人の一生から見た場合に最適な機会や指導が与えられていない問題があります。生涯にわたるライフパスと能力に応じた最適なスポーツ支援・指導の提供という観点から、統一的な政策のあり方を検討するというのも一つです。</p> <p>4) もうひとつの例としては、瀬戸内国際芸術祭のこれまでの成果のさらなる活用・進展は、あげられている諸施策に関連します。(321)文化芸術の振興だけでなく、クリエイティブな才能の発見・育成・教育という意味で、(111)子どもの成長への支援、(112)子育て家庭への支援、そこに高齢者や女性の才能を活かすという意味で(121)地域福祉の推進、(122)地域包括ケアシステムの構築の中の社会参加の拡充、(211)男女共同参画の推進、クリエイティブな教育という意味で(221)学校教育の充実、(222)学校教育環境の整備、(224)青少年の健全育成、(225)家庭・地域の教育力の向上、さらに大学や大学院でのクリエイティブ教育・研究の推進という意味で、(226)大学等高等教育の充実、社会人のクリエイティブ性の育成と活用という意味で(231)生涯学習の推進、アートをいかしたビジネスの振興・アートと製造業・商店街などのコラボレーションの推進という意味で(311)商工業の推進、食とアートの推進で(312)農林水産業の振興、アートのビジネス化・情報発信はさらに国際的に効果的に展開する必要がある、(313)特産品の育成・振興とブランド力の向上、など(後は省略)、さまざまな諸施策と関連します。こうした諸施策として実行されるものが何を統一的につくりあげるのかを明示化し、その統一的目標への貢献度を数値化するべきではないでしょうか。その際、施策相互の関係が整理され、縦割りの弊害を取り除く連携の工夫が求められます。総合戦略は、具体的諸施策の結果、何が実現されるのかの統一的な像をいくつか5~6つ、提示できるといいのではないのでしょうか?</p>
4	23	<p>まちづくりの目標に対応しているのが分かりにくい。</p>

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
5 3 (73頁～94頁)	5	MICEの為には資本が必要、民間の資本を活用してハコを造る。また街の景観(デザイン)は緑化をより充実、サンポート、中央公園、石清尾八幡などポイントになる憩いの場をブラッシュアップ。奥深いところで栗林公園とのデザインの共通性を意識しながら大小イベントの場として内外の人が集うクリエイティブな場づくりをする。観光客を意識した移動手段の提供もポイント。
5	7	【施策名：(321)文化芸術の振興】文化、アートなどのコンテンツが多くあるが、県外などからの評価が高いが、実際市民がそれをとて求めているかは少し疑問を感じることもある。県や、市は観光施策として力を入れているのはわかるが、市民がいまいちついてきていないのではないかと感じることもある。 【施策名：(331)スポーツ振興】スポーツイベント開催の際の市の関わり方をもっと考えていくべき。軌道に乗ってから応援するのではなく、最初の段階から一緒に作って応援していくことで官・民連系した大会などに成長していくのではないと思う。また、スポーツイベントだけではなく、他のイベントにも手伝ってもらえるようなボランティアを取りまとめるコミュニティを市で作ってはどうか。AEDの使い方講座やボランティアを育成する講座を定期的に行い、市内で開催するイベントに派遣する制度を作って、市民意識の向上を図る。
5	9	・341 瀬戸内海クルーズの充実 島での桟橋利用、宿、食、足、Mの充実 ・342 WiFiの整備促進 ・342 四国へんろ道の世界遺産登録に向けた支援、整備充実
5	10	・施策名：(311)商工業の振興のなかで、中央商店街の空き店舗割合の減少をKPIとしていますが、効果的な改善方法とは、何ですか教えてください。トキワ街の活性化が求められるのではないのでしょうか。 ・施策名：(321)文化芸術の振興(341)観光客受入環境の整備および(342)観光客誘致を併せて考えれば情報発信、サイクルロード等観光ルートの設定(例えば北浜アリーナ⇒サンポート⇒美術館⇒栗林公園)および公共交通機関の充実が必要と思われませんが、どのようなお考えでしょうか？
5	15	P56 教員の資質向上の所ですが、教員の長時間労働がかなり教育現場に負荷を与えています。教員のWLBを充実させることが即、子ども達の利益に繋がりますので教育指導体制だけではなく教員の労働環境にも言及して頂きたい。 P79 表彰制度はとても良いと思いますが、市が主導して中小企業経営者・管理職に対する定期的な研修(出前講座や定期的なWLB・男女共同参画講座)を行っていかねば中小企業独自では中々行えない。結果的に人が集まらず負のスパイラルに陥るのでこの点を行政の手で改めるきっかけにしたい。
5	18	I・Uターン者(家族)の受入れ促進→産業・農業の振興、農地整備 新たな観光開発…JRに協力・依頼して、SLの運行 外国人技術習得者(工業・農林水産業ほか)の養成、研修所の設置(受入)
5	19	1)パリのJapan Expoの特別枠に高松市が日本で4番目に選ばれるなど、貴重な機会が訪れているが、その機会を有効に活用できているとは言い難い。こうしたことはタイミングと、その機会の特性に合った手段をいかに迅速に用意できるかにかかっている。千載一遇のチャンスをいかにフルに活用できるか、その決断力と柔軟性が自治体にも求められているのではないかと？ 2)瀬戸内国際芸術祭は一定の成果を生んでいるが、それを長期的な深い地域活性化につなげる、ないしは芸術的な動きを産業やビジネス面での成果につなげていくには、さらなる取組み・工夫が必要であり、そのような戦略を設定していく必要があるのではないかと？ 3)日本企業の海外進出は政府レベル、大企業においても課題が大きく、表面的なものにとどまっていることが多い。個別具体的な産業を有する自治体は、より内容と結果にコミットした支援策を検討する必要がある。国際化の最前線での情報収集とネットワーク形成の現場がいかなるものかの認識をしっかりと持って、単なる物見遊山ではない考え方ができる国際人材を育成し、骨太な国際戦略を進める必要がある。国際化と産業支援がしっかりリンクしていないのは大きな欠落ではないかと？
5	21	文化芸術の振興も、地域産業の活性化の利益で支えられるものであり、収入と支出がセットのグループで議論されると、どうしても産業振興が上位に立ってしまう懸念があります。
5	23	まちづくりの目標に対応しているのが分かりにくい。
5	24	第5次の総合計画と比較すれば違いが分かると思いますが、もし新旧対照表とか、新しい取組の部分が分かる資料を作成しておられましたら、ご提供をお願いいたします。
5	25	[商工業の振興] ・中小企業の育成と振興においては、実際の声を反映させる施策をお願いする。例えば、認定支援機関と連携して計画を策定すれば、フレキシブルに高松市独自の中小企業支援メニュー(補助金、利子補給等)が利用できる仕組みがあれば、非常に有効であると考えます。 ・中央商店街の活性化については、空き店舗対策の一環として、独創的なビジネスモデルによる創業・新事業展開支援の場(チャレンジショップ)として活用してみたいかがかと思う。例えば、ビジネスプランコンテスト等とリンクした支援を行う等。 ・企業誘致については、柔軟な規制改革を行うことにより、他県・他市との違いを發揮してほしい。 [農村水産等の振興] ・例えば、卸売市場の活性化として、とれたて新鮮な魚と野菜を自由に買い物し、瀬戸内海を眺めながら食事できるイートインスペースを設ける等を行い、高松の見どころにしてみたいかがかかと思う。他県の市場では非常に賑わいがある(山口県の唐戸市場等)。 [特産品の育成・振興ブランドの向上] ・伝統的ものづくり産業については、新たなデザインや利用用途を見つけて、新たな顧客層を開拓し、新市場を創造する必要がある。また値段も手頃感が出せる新たなブランドを立ち上げる工夫が必要。 [就業環境の充実] ・就業支援の促進については、ハローワークとは違うルート(都会からの移住者等)を開拓したり、地元大学や高専(先生と地元企業の推薦ルートを新たに作る)等の学生の地元企業への就職斡旋等が必要。 [文化芸術の振興] ・文化芸術施設を整備すると同時に、見るだけでなく新たな体験ができる美術館として顧客層の開拓につなげる必要がある。 [スポーツの振興] ・仲間や家族等が気軽にできるスポーツイベントの開催やスポーツ施設の整備をお願いしたい。またトップスポーツチームの育成等にも注力して、にぎわい創出をお願いしたい。 [観光客受入施設の整備][観光客誘致の促進] ・昼夜を問わず高松は、一日中遊べるイメージを全国に発信することが重要。また、日本人のみならず増加する外国人もターゲットとして、消費をうながす仕組み作りにつとめてほしい。そのためにも、事業者への補助金制度の充実を図る必要がある。 [移住・交流の促進] ・住みやすさのPRや移住体験に来た人への住民とのふれあいの場をもうけて、他県他市とは違うおもてなしを行い、高松に移り住んでもらう努力が必要。

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
6 施策の方針 まちづくりの目標 4 (95頁～128頁)	3	(415) 生活衛生の向上について。動物愛護についてですが、犬・猫殺処分率全国ワースト上位の現状を打破するためには保健所や動物愛護センターを土日祝日も営業するなどして利用しやすくすることや、命を「買う」のではなく、命を「もらう」ことを推進する取組や迷子札の啓発・普及を積極的に進めていただく、獣医師との連携等、具体的な施策を明文化していただきたいです。命を大切にできない県であるという汚名を高松市から積極的に改善する姿勢を明確に打ち出していきたいと強く思います。豊かな子ども達を育てて行くためにも大切な施策だと位置づけていただきたいです。
6	9	・424 太陽光発電I補助金の地産地消促進 農業、観光への活用
6	10	・施策名：(413) 交通安全対策の充実のなかで、最近若年層の交通事故死が増加しているように思われますが、免許証の取得時(学科・筆記テスト)に交通ルールやマナーの指導・教育について、現状よりも厳しくすれば良いと思いますが、いかがでしょうか。 ・施策名：(422) 廃棄物の適正処理、(423) 不法投棄の防止では、少し本論から離れますが、生活環境や来高された観光客の心象にまで影響する問題であり、ぜひとも厳しく取り組みして欲しいと思います。
6	18	農地転用の抑制→自然災害の防止 有害鳥獣害対策
6	19	最下段参照  2) 高松市で取り組まれている関連することが、行政的に担当する部署が異なるため、あるいは現場で担当する機関が異なるために、効果を十分にあげることができず、もったいないことがあります。総合政策の推進の工夫として、6つの目標、さらに諸施策とブレークダウンしたものを、市の総合的な戦略から統一的な取組みに束ねる方向性を検討してはどうでしょうか？ 3) 例えば、スポーツに関する取組みも、小学校、中学校、高校、社会人、高齢者など年齢別に区切られた機関が担当することから、各個人の一生から見た場合に最適な機会や指導が与えられていない問題があります。生涯にわたるライフパスと能力に応じた最適なスポーツ支援・指導の提供という観点から、統一的な政策のあり方を検討するというのも一つです。 4) もうひとつの例としては、瀬戸内国際芸術祭のこれまでの成果のさらなる活用・進展は、あげられている諸施策に関連します。(321) 文化芸術の振興だけでなく、クリエイティブな才能の発見・育成・教育という意味で、(111) 子どもの成長への支援、(112) 子育て家庭への支援、そこに高齢者や女性の才能を活かすという意味で(121) 地域福祉の推進、(122) 地域包括ケアシステムの構築の中の社会参加の拡充、(211) 男女共同参画の推進、クリエイティブな教育という意味で(221) 学校教育の充実、(222) 学校教育環境の整備、(224) 青少年の健全育成、(225) 家庭・地域の教育力の向上、さらに大学や大学院でのクリエイティブ教育・研究の推進という意味で、(226) 大学等高等教育の充実、社会人のクリエイティブ性の育成と活用という意味で(231) 生涯学習の推進、アートをいかしたビジネスの振興・アートと製造業・商店街などのコラボレーションの推進という意味で(311) 商工業の推進、食とアートの推進で(312) 農林水産業の振興、アートのビジネス化・情報発信はさらに国際的に効果的に展開する必要があり、(313) 特産品の育成・振興とブランド力の向上、など(後は省略)、さまざまな諸施策と関連します。こうした諸施策として実行されるものが何を統一的につくりあげるのかを明示化し、その統一的目標への貢献度を数値化すべきではないでしょうか。その際、施策相互の関係が整理され、縦割りの弊害を取り除く連携の工夫が求められます。総合戦略は、具体的諸施策の結果、何が実現されるのかの統一的な像をいくつか5～6つ、提示できるというのではないのでしょうか？
6	23	まちづくりの目標に対応しているのが分かりにくい。

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
7 施策の方針 まちづくりの目標 5 (129頁～142頁)	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・512 四国88景ポイントへの参画、場所選定</li> <li>・521 LRTの導入及びICカードの利便性とイコカの共通利用拡大</li> <li>・531 四国新幹線の整備計画格上げによる早期導入促進 四国内都市間到達時間の大幅短縮 JR四国複線電化の表現は削除</li> </ul>
7	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策名：(511)多核連携型コンパクト・エコシティの推進、(521)交通機関の利便性の向上のなかで、市民病院(仏生山)への交通アクセスとして、東西からのバスルート等(屋島方面・香西方面)のアクセスも検討する必要があると思いますが、いかがでしょうか？</li> </ul>
7	14	<p>中央通オフィス街では企業支店機能の縮小、統合、撤退が増加している。</p> <p>加えて需要、売り上げ減少が進んでいるため、ビル所有者に対し、支援のみではなく、研修指導も必要とされる。</p>
7	19	<p>最下段参照</p> <p>2)高松市で取り組まれている関連することが、行政的に担当する部署が異なるため、あるいは現場で担当する機関が異なるために、効果を十分にあげることができず、もったいないことがあります。総合政策の推進の工夫として、6つの目標、さらに諸施策とブレークダウンしたものを、市の総合的な戦略から統合的な取組みに束ねる方向性を検討してはどうでしょうか？</p> <p>3)例えば、スポーツに関する取組みも、小学校、中学校、高校、社会人、高齢者など年齢別に区切られた機関が担当することから、各個人の一生から見た場合に最適な機会や指導が与えられていない問題があります。生涯にわたるライフパスと能力に応じた最適なスポーツ支援・指導の提供という観点から、統合的な政策のあり方を検討するというのも一つです。</p> <p>4)もうひとつの例としては、瀬戸内国際芸術祭のこれまでの成果のさらなる活用・進展は、あげられている諸施策に関連します。(321)文化芸術の振興だけでなく、クリエイティブな才能の発見・育成・教育という意味で、(111)子どもの成長への支援、(112)子育て家庭への支援、そこに高齢者や女性の才能を活かすという意味で(121)地域福祉の推進、(122)地域包括ケアシステムの構築の中の社会参加の拡充、(211)男女共同参画の推進、クリエイティブな教育という意味で(221)学校教育の充実、(222)学校教育環境の整備、(224)青少年の健全育成、(225)家庭・地域の教育力の向上、さらに大学や大学院でのクリエイティブ教育・研究の推進という意味で、(226)大学等高等教育の充実、社会人のクリエイティブ性の育成と活用という意味で(231)生涯学習の推進、アートをいかしたビジネスの振興・アートと製造業・商店街などのコラボレーションの推進という意味で(311)商工業の推進、食とアートの推進で(312)農林水産業の振興、アートのビジネス化・情報発信はさらに国際的に効果的に展開する必要がある、(313)特産品の育成・振興とブランド力の向上、など(後は省略)、さまざまな諸施策と関連します。こうした諸施策として実行されるものが何を統合的につくりあげるのかを明示化し、その統合的目標への貢献度を数値化すべきではないでしょうか。その際、施策相互の関係が整理され、縦割りの弊害を取り除く連携の工夫が求められます。総合戦略は、具体的諸施策の結果、何が実現されるのかの統合的な像をいくつか5～6つ、提示できるといいのではないのでしょうか？</p>
7	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高松市地域公共交通網形成計画の目標値と成果指標を合わせていくべきではないか。 <a href="https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/file/24470_L22_04chiikikoukyoukoutsuumou.pdf">https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/file/24470_L22_04chiikikoukyoukoutsuumou.pdf</a> (高松市地域公共交通網形成計画のアドレス)</li> <li>・総合都市交通計画にあった、中心部への自動車流入規制は記載できないか。</li> <li>・(531)拠点として瓦町駅や仏生山は示さないのか。</li> </ul>
7	21	<p>中心市街地の活性化がなぜ必要なのか？を解り易く説明しなければ、なかなか市民、議会の承認は得られないと思います。</p>
7	23	<p>まちづくりの目標に対応しているのが分かりにくい。</p>

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
8	6	(143頁～154頁) 3 <p>(631) 職員力の向上について。私は色々と手続きがいくつかある際は遠くても敢えて旧市外の以前は役場であった出張所へ参ります。ある出張所の職員の方は窓口での手続きに精通しているため、スムーズに対応していただけます。本所も例えばコンシェルジュ的な職員を配置するなど関連の手続きについては端末ですべての必要な手続きを検索ができ、時間はかかっても懇切丁寧な市民サービスの実現が課題ではないでしょうか。また、そのような市民に喜ばれる環境作りが職員のモチベーションにもつながると思います。「ありがとう」の言葉の力は大きいと思います。是非、施策に反映させていただきたいです。(613)離島の振興について。大島は浮棧橋ではないため安定的な運航の確保のためにも浮棧橋にするために港の整備を早急に国・県・市が連携し将来的には民間の船で運行できるような体制をとれるよう施策に反映させていただきたいです。その他、高速通信網が整備されておらず昨今のIT化に追いついておりませんのでそこも課題だと思います。また、今は国立療養所としての大島青松園ですが、納骨堂の継続的な維持管理の問題や船舶問題と併せて将来のことも考え活性化のための施策を検討することが課題ではないでしょうか。</p>
8	5	5 <p>市民が誇りを持てるブランドづくりに成功し、市民で幸福度を共有できる状態に。テーマを一つに絞り、産学官協働で手に入れる。ブランドづくりとは、市民の目に見える(計測可能な)幸せ、外貨を稼げる商品開発、観光資源開発、人材育成をかなえる大テーマで生活に密着していたほうが実感を共有し易い。例えば「食」で言うなら、「新鮮で栄養ある食事をとり、子供からお年寄りまでが活力あふれる街」など。子供の休暇日数、医療費、寝たきり率など計測可能なものとそれに必要な商品開発、イベント、教育等のサイクルを回す。</p>
8	10	10 <p>・施策名：(611)地域コミュニティの自立・活性化のなかでは、将来的には、塩江町、香川町、牟礼町、庵治町では日本版C R C Cの検討も必要と思われるが、どのように考えていますか？</p>
8	12	12 <p>611コミュニティの自立・活性化では、地域コミュニティの自立では、コミュニティ内の予算配分の公平性を保つ仕組みが必要だと思います。また、612ではコミュニティ活動を支える人材育成が必要だと思います。市行政を推進する市職員以外の人材育成が必要だと思います。それをどこの施策に入れるかですが、高松市はコミュニティ協議会中心に市民活動を推進するのであれば、この施策に人材育成検討してほしいです。</p>
8	14	14 <p>参画、協働促進のために更なる縦割り行政システムの改善が必要。</p>
8	18	18 <p>住民自治組織の意義の啓蒙・啓発→自治会づくりへの参加を呼びかけ</p>
8	19	19 <p>最下段参照</p> <p>2) 高松市で取り組まれている関連することが、行政的に担当する部署が異なるため、あるいは現場で担当する機関が異なるために、効果を十分にあげることができず、もったいないことがあります。総合政策の推進の工夫として、6つの目標、さらに諸施策とブレイクダウンしたものを、市の総合的な戦略から統合的な取組みに束ねる方向性を検討してはどうでしょうか？</p> <p>3) 例えば、スポーツに関する取組みも、小学校、中学校、高校、社会人、高齢者など年齢別に区切られた機関が担当することから、各個人の一生から見た場合に最適な機会や指導が与えられていない問題があります。生涯にわたるライフパスと能力に応じた最適なスポーツ支援・指導の提供という観点から、統合的な政策のあり方を検討するというのも一つです。</p> <p>4) もうひとつの例としては、瀬戸内国際芸術祭のこれまでの成果のさらなる活用・進展は、あげられている諸施策に関連します。(321)文化芸術の振興だけでなく、クリエイティブな才能の発見・育成・教育という意味で、(111)子どもの成長への支援、(112)子育て家庭への支援、そこに高齢者や女性の才能を活かすと言う意味で(121)地域福祉の推進、(122)地域包括ケアシステムの構築の中の社会参加の拡充、(211)男女共同参画の推進、クリエイティブな教育という意味で(221)学校教育の充実、(222)学校教育環境の整備、(224)青少年の健全育成、(225)家庭・地域の教育力の向上、さらに大学や大学院でのクリエイティブ教育・研究の推進という意味で、(226)大学等高等教育の充実、社会人のクリエイティブ性の育成と活用という意味で(231)生涯学習の推進、アートをいかしたビジネスの振興・アートと製造業・商店街などのコラボレーションの推進という意味で(311)商工業の推進、食とアートの推進で(312)農林水産業の振興、アートのビジネス化・情報発信はさらに国際的に効果的に展開する必要があり、(313)特産品の育成・振興とブランド力の向上、など(後は省略)、さまざまな諸施策と関連します。こうした諸施策として実行されるものが何を統合的につくりあげるのかを明示化し、その統合的目標への貢献度を数値化すべきではないでしょうか。その際、施策相互の関係が整理され、縦割りの弊害を取り除く連携の工夫が求められます。総合戦略は、具体的諸施策の結果、何が実現されるのかの統合的な像をいくつか5～6つ、提示できるというのではないのでしょうか？</p>
8	21	21 <p>中心市街地の活性化と同じく、なぜ地域のコミュニティがいま必要とされているのか？を解り易く説明する必要があります。</p>
8	23	23 <p>まちづくりの目標に対応しているのが分かりにくい。</p>

## 高松市総合計画(原案)加筆修正等御意見・集約

項目	委	(質問1) 御意見欄を自由に記入してください。
9 総合計画の推進 (157頁～158頁)	3	前回の計画の達成の度合いや引き続いての施策の分析結果などを知りたいです。
9	10	・P D C Aサイクルは国から求められているものであり、K P I 達成に向け、地域金融機関として協力していきたいと思えます。
9	12	631職員力の向上 職員の自由な発想を取り上げ、企画立案実行までを多部門から集まった職員で行うプロジェクトチームうい行う施策の仕組みをつくってください。既にあるのかもしれませんが、職員が仕事が面白いと思える職場づくりを考えてください。特に協職員を育てる組織横断プロジェクトを希望します。
9	19	1) 6つの目標が個別に数値目標を設定してチェックするだけでなく、目標がクロスする部分をも数値化して、相乗効果を生み、縦割りの弊害を克服する取組みを評価推進できる仕組みをつくる必要があるのではないのでしょうか？ 2) 高松市で取り組まれている関連することが、行政的に担当する部署が異なるため、あるいは現場で担当する機関が異なるために、効果を十分にあげることができず、もったいないことがあります。総合政策の推進の工夫として、6つの目標、さらに諸施策とブレイクダウンしたものを、市の総合的な戦略から統合的な取組みに束ねる方向性を検討してはどうでしょうか？ 3) 例えば、スポーツに関する取組みも、小学校、中学校、高校、社会人、高齢者など年齢別に区切られた機関が担当することから、各個人の一生から見た場合に最適な機会や指導が与えられていない問題があります。生涯にわたるライフパスと能力に応じた最適なスポーツ支援・指導の提供という観点から、統合的な政策のあり方を検討するというのも一つです。 4) もうひとつの例としては、瀬戸内国際芸術祭のこれまでの成果のさらなる活用・進展は、あげられている諸施策に関連します。(3 2 1) 文化芸術の振興だけでなく、クリエイティブな才能の発見・育成・教育という意味で、(1 1 1) 子どもの成長への支援、(1 1 2) 子育て家庭への支援、そこに高齢者や女性の才能を活かすという意味で(1 2 1) 地域福祉の推進、(1 2 2) 地域包括ケアシステムの構築の中の社会参加の拡充、(2 1 1) 男女共同参画の推進、クリエイティブな教育という意味で(2 2 1) 学校教育の充実、(2 2 2) 学校教育環境の整備、(2 2 4) 青少年の健全育成、(2 2 5) 家庭・地域の教育力の向上、さらに大学や大学院でのクリエイティブ教育・研究の推進という意味で、(2 2 6) 大学等高等教育の充実、社会人のクリエイティブ性の育成と活用という意味で(2 3 1) 生涯学習の推進、アートをいかしたビジネスの振興・アートと製造業・商店街などのコラボレーションの推進という意味で(3 1 1) 商工業の推進、食とアートの推進で(3 1 2) 農林水産業の振興、アートのビジネス化・情報発信はさらに国際的に効果的に展開する必要があり、(3 1 3) 特産品の育成・振興とブランド力の向上、など(後は省略)、さまざまな諸施策と関連します。こうした諸施策として実行されるものが何を統合的につくりあげるのかを明示化し、その統合的目標への貢献度を数値化すべきではないのでしょうか。その際、施策相互の関係が整理され、縦割りの弊害を取り除く連携の工夫が求められます。総合戦略は、具体的諸施策の結果、何が実現されるのかの統合的な像をいくつか5～6つ、提示できるといいのではないのでしょうか？ 5) 具体的な諸施策を設計して選択していく上でも、そのような施策横断的な成果の統合的具體像というものが大切で、その像を基準に取捨選択を行えるものにしていくとよいのではないのでしょうか？そうした5～6つの成果像は、そのまま総合計画の明示化されたわかりやすい売りとして説明に用いることができるものです。
9	23	それまでのページより、急に機械的になった印象を受けたので、もう少し砕いてもいいかもしれない。

## 第5次高松市総合計画における成果の達成度「平成26年度決算分」について

### 1 行政評価

- ・行政評価は、行政サービスの現状と課題を分析し、改善につなげる手法
- ・P D C Aサイクルの考えに基づき、効果的・効率的で成果重視の行政運営を推進
- ・評価の公表により、説明責任を果たし、職員の意識改革にも結び付ける。

#### (行政評価結果)

総合評価	A (85点以上)	B + (74点以上 85 点未満)	B (64点以上 74 点未満)	B - (52.5点以上 64点未満)	C (52.5点未満)	計
		15 (25.0%)	18 (30.0%)	12 (20.0%)	15 (25.0%)	0 (0.0%)

#### ★ 総合評価（各評価項目の合計得点）について

- 「得点64点以上（A、B+、B）」との評価：45施策  
（施策全体の75.0%。昨年度比較で、1.7ポイント増加）
- 「得点52.5点以上64.0点未満（B-）」との評価：15施策
- 「得点52.5点未満（C）」との評価：該当施策なし

総合評価が高かった施策

順位	施策名	政策	目標
1	産業廃棄物の適正処理の促進	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	2
2	学校教育環境の整備	生きる力を育む教育の充実	1
3	みどりのまちづくり	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	2
4	障害者の自立支援と社会活動への参加の促進	いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり	3
5	地域情報化の推進	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	5
6	連携の推進	社会の変革に即応した行財政運営	6
7	人権を大切に作る社会づくり	基本的人権を尊重する社会の確立	1
8	スポーツ・レクリエーションの振興	心豊かな生涯学習社会の形成	1
9	ごみの発生抑制・減量・リサイクルの推進	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	2
10	水の循環利用と節水の推進	水を大切に作るまちづくり	2

○目標毎で見ると、

まちづくりの目標 2「人と環境にやさしい安全で住み良いまち」(ゴミ環境、生活環境、水環境)

まちづくりの目標 1「心豊かな人と文化を育むまち」(人権、教育、スポーツ)

には、評価が高い施策が多かった。

総合評価が低かった施策

順位	施策名	政策	目標
60	農林水産業の振興	地域を支える産業の振興・地域経済の活性化	4
59	地域における拠点性の確保	計画的な市街地の形成	5
58	観光客誘致・交流の推進	魅力あふれる観光・コンベンションの振興	4
57	地域性豊かな特色ある観光資源の創造	魅力あふれる観光・コンベンションの振興	4
56	健やかに暮らすための健康づくり	健やかに暮らせる環境づくり	3
55	子育てと仕事の両立支援	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	3
54	生涯学習の推進	心豊かな生涯学習社会の形成	1
53	多様なパートナーシップによるまちづくり	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	6
52	就業環境の向上	安定した魅力ある就業環境づくり	4
51	高齢者の生活支援と社会活動への参加の促進	いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり	3

○目標毎で見ると、

まちづくりの目標 4「人がにぎわい活力があふれるまち」(農林水産業、観光、観光資源、就業環境)

まちづくりの目標 3「健やかにいきいきと暮らせるまち」(健康づくり、子育て、高齢者)

には、評価が低い施策が多かった。



## 2 市民満足度調査

- ・市民の意見を今後の市政に反映させるため、第5次高松市総合計画の各施策に対する満足度などについての調査を実施

### <調査の概要>

- (1) 調査対象者：平成27年1月1日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した満20歳以上の市民2,000人
- (2) 調査期間 平成27年1月16日～1月31日
- (3) 調査方法 対象者に調査票を郵送で配布・回収
- (4) 調査内容
  - ①施策（60項目）に対する満足度
    - …まちづくりの目標別にA票・B票に分け「満足」～「不満」の5段階評価
  - ②政策（23項目）についての重要度…重要政策を5つ選択
  - ③自由意見…本市の市政などについて、自由に意見記入
- (5) 回収率 36.8%
  - 〔参考〕 H25 (39.6) H24 (38.0) H23 (37.3) H22 (39.6) H21 (37.9) H20 (40.5)

### (市民満足度調査結果)

満足度	50%以上	40～50%	30～40%	20～30%	20%未満	計
	1 (1.7%)	6 (10.0%)	16 (26.7%)	27 (45.0%)	10 (16.7%)	60 (100.0%)
不満度	50%以上	40～50%	30～40%	20～30%	20%未満	計
	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	16 (26.7%)	43 (71.7%)	60 (100.0%)

### ★ 市民満足度調査の結果について

- 「満足度（満足・やや満足）40%以上」： 7 施策
  - ①ごみの発生抑制・減量・リサイクルの推進
  - ②危機管理体制の整備
  - ③一般廃棄物の適正処理
  - ④消防体制の整備
  - ⑤健やかに暮らすための健康づくり
  - ⑥安全で安心した水道水の供給、
  - ⑦地域性豊かな特色ある観光資源の創造
- 「不満度（不満・やや不満）30%以上」： 1 施策
  - ①「公共交通の利便性の向上」

(満足度>不満足)

順位	施策名	政策	目標
1	ごみの発生抑制・減量・リサイクルの推進	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	2
2	消防体制の整備	安全で安心して暮らせる環境の整備	2
3	一般廃棄物の適正処理の推進	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	2
4	子どもの安全確保	生きる力を育む教育の充実	1
5	安全で安定した水道水の供給	水を大切にすまちづくり	2
6	健やかに暮らすための健康づくり	健やかに暮らせる環境づくり	3
7	文化財の保存と活用	地域に根ざした文化芸術の創造と振興	1
8	文化芸術活動の推進	地域に根ざした文化芸術の創造と振興	1
9	みどりのまちづくり	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	2
9	特産品の育成・振興とブランド化の推進	地域を支える産業の振興・地域経済の活性化	4

- 満足度が高かった施策（満足度が不満足度を大きく上回っている施策）を見てみると、  
 まちづくりの目標2「人と環境にやさしい安全で住みよいまち」：5施策  
 まちづくりの目標1「心豊かな人と文化を育むまち」：3施策  
 が多い。

(満足度<不満足)

順位	施策名	政策	目標
60	就業環境の向上	安定した魅力ある就業環境づくり	4
59	適正な土地利用の推進	計画的な市街地の形成	5
58	簡素で効率的な行財政システムの構築	社会の変革に即応した行財政運営	6
57	居住環境の整備	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	2
56	生活困窮者の自立支援	いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり	3
55	社会保障制度の適切な運営	健やかに暮らせる環境づくり	3
54	高等教育の充実	生きる力を育む教育の充実	1
53	地域における拠点性の確保	計画的な市街地の形成	5
52	心豊かな生涯学習社会の形成	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	6
51	子育てと仕事の両立支援	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	3

- 満足度の低い施策（不満足度が満足を上回った施策）は、  
 まちづくりの目標3「健やかにいきいきと暮らせるまち（福祉、社会保障、子育て）」：3施策、  
 まちづくりの目標5「道州制時代に中枢拠点性を担えるまち（土地利用、市街地）」：2施策  
 まちづくりの目標6「分権型社会にふさわしいまち（行財政運営、コミュニティ）」：2施策  
 が多い。

(参考)  
第5次高松市総合計画における施策の平成27年度(26年度決算分)評価結果と市民満足度調査結果(最新値)

施策体系			平成27年度(H26決算分)評価結果							市民満足度調査結果(H26)					
まちづくりの目標	政策	施策	総合評価	成果目標達成度					満足度		不満足度		満足度と不満足度の比較		
				目標項目	第5次総合計画策定時(H19)	最新値(H26)	年度目標値(H26)	年度目標値に対する達成度	最終目標値(H27)	満足度	(順位)	「不満足度」	(順位)	「満足度」－「不満足度」	(順位)
心豊かな人と文化を育むまち	基本的人権を尊重する社会の確立	人権を大切に作る社会づくり	A	文化センター(隣保館)・児童館利用者数【H23設定】	75,378 人/年(H22)	83,053 人/年	76,300 人/年		77,000 人/年	24.7%	38	7.9%	58	16.8%	20
				人権啓発事業等参加人数【H23設定】	8,859 人/年(H22)	11,895 人/年	9,150 人/年		9,200 人/年						
		平和を大切に作る社会づくり	B+	平和記念室入館者数	27,978 人/年	22,673 人/年(H23)	— 人/年	—	— 人/年	31.8%	21	8.5%	57	23.3%	11
				平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数【H25設定】	7,116 人/年(H24)	7,823 人/年	7,250 人/年		7,300 人/年						
	男女共同参画社会の形成	男女共同参画の社会づくり	A	審議会等における女性委員の割合	28.6 %	38.7 %	40.0 %		40.0 %	21.5%	46	12.5%	45	9.0%	35
				「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感する市民意識の割合	16.9 %	6.7 %	6.9 %		6.9 %						
	生きる力を育む教育の充実	学校教育の充実	B+	教職員研修参加者数	716 名	2,785 名	1,500 名		1,500 名	35.9%	14	16.0%	32	19.9%	17
				不登校児童生徒の学校復帰率	45.0 %	51.9 %	50.0 %		50.0 %						
				生鮮野菜・果物の県産使用割合	39.4 %	53.1 %	50.0 %		50.0 %						
		学校教育環境の整備	A	幼稚園施設耐震化率	— %	100 %	100 %		100 %	39.6%	8	17.2%	27	22.4%	14
小・中学校施設耐震化率				55.76 %	98.0 %	99.0 %		100 %							
高松第一高等学校施設耐震化率				33.33 %	100 %	100 %		100 %							
家庭教育の向上		B-	朝ごはんを食べている子どもの割合(小学6年生)	84.2 %	87.0 %	100.0 %		100.0 % (変更)	27.4%	33	15.6%	33	11.8%	27	
			家庭教育学級延受講者数	26,940 人/年	24,553 人/年	27,000 人/年		27,000 人/年							
青少年の健全育成		B	未成年者千人あたりの不良行為少年の補導人数(高松4警察署管内)	24.4 人	19.7 人	21 人		20.0 人以下	24.5%	39	21.4%	13	3.1%	45	
子どもの安全確保		B+	不審者情報メール1次配信先数(市立学校・幼稚園・保育所、市PTA連絡協議会など)	230 件	463 件	470 件		500 件	46.5%	2	13.8%	40	32.7%	4	
高等教育の充実	B-	大学等との連携・協力事業数【H23設定】	42 事業(H22)	33 事業	30 事業		30 事業	18.8%	53	19.6%	19	-0.8%	54		
心豊かな生涯学習社会の形成	生涯学習の推進	B-	生涯学習をしている人の割合	42.3 %	35.5 %	50.0 %		50.0 %	34.5%	17	11.3%	47	23.2%	12	
			市民1人当たり貸出冊数	6.05 冊/年	6.4 冊/年	8.1 冊/年		7.0 冊/年							
	スポーツ・レクリエーションの振興	A	総合型地域スポーツクラブ数	5 クラブ	9 クラブ	10 クラブ		9 クラブ	31.4%	22	16.3%	30	15.1%	22	
			社会体育施設の利用者数	1,345,598 人/年	1,869,189 人/年	1,560,000 人/年		1,480,000 人/年							
地域に根ざした文化芸術の創造と振興	文化芸術活動の推進	B+	デリバリーアーツ事業鑑賞者数	1,776 人/年	1,542 人/年	2,230 人/年		2,300 人/年	35.2%	15	10.2%	52	25.0%	8	
	文化芸術を創造する環境づくり	B	高松市美術館の展覧会観覧者数	132,479 人/年	91,714 人/年	155,000 人/年		160,000 人/年	34.9%	16	12.2%	46	22.7%	13	
	文化財の保存と活用	B	ふるさと探訪等文化財学習会の参加者数	975 人/年	1,241 人/年	1,170 人/年		1,200 人/年	37.4%	10	9.2%	54	28.2%	7	
人と環境にやさしい安全で住みよいまち	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	環境保全活動の推進	B+	本市域の温室効果ガス排出量	3,545.4 千t-Co2	2,894 千t-Co2	2,035 千t-Co2		2,035.6 千t-Co2 (変更)	24.5%	39	13.0%	43	11.5%	29
		ごみの発生抑制・減量・リサイクルの推進	A	ごみ排出量	170,740 t/年	148,293 t/年	145,525 t/年		162,000 t/年	53.5%	1	8.6%	56	44.9%	1
				再生利用量	37,902 t/年	28,670 t/年	30,957 t/年		30,942 t/年						

施策体系			平成27年度（H26決算分）評価結果							市民満足度調査結果（H26）					
まちづくりの目標	政策	施策	総合評価	成果目標達成度					満足度		不満足度		満足度と不満足度の比較		
				目標項目	第5次総合計画策定時（H19）	最新値（H26）	年度目標値（H26）	年度目標値に対する達成度	最終目標値（H27）	満足度	（順位）	「不満足度」	（順位）	「満足度」－「不満足度」	（順位）
豊かな暮らしを支える生活環境の向上	一般廃棄物の適正処理の推進	一般廃棄物の適正処理の推進	B+	最終処分量	19,310 t/年	13,236 t/年	13,800 t/年		13,200 t/年 (変更)	44.6%	3	7.8%	59	36.8%	3
		産業廃棄物の適正処理の促進	A	不適正な保管等の量	24,355 t	12,372 t	19,000 t		19,000 t以下	29.5%	27	8.9%	55	20.6%	16
		不法投棄の防止	B-	不法投棄撲滅クリーン作戦の参加者数	5,670 人/年	6,342 人/年	6,600 人/年		6,800 人/年	28.2%	32	25.4%	6	2.8%	46
	居住環境の整備	B-	市営住宅の戸数【H23設定】	4,310 戸 (H22)	4,229 戸	4,264 戸		4,239 戸	13.5%	27	19.0%	24	-5.5%	57	
			開発行為の許可件数【H23設定】	158 件 (H22)	202 件	202 件		202 件							
			完了検査済証交付件数【H23設定】	99 件 (H22)	84 件	85 件		85 件							
	身近な道路環境の整備	B+	市道改良率（50m以上連続した幅員4m以上の区間を有する市道）	61.09 %	63.00 %	63.52 %		64.00 %	32.5%	19	22.5%	12	10.0%	34	
	みどりのまちづくり	A	公園愛護会の団体数	135 団体	149 団体	146 団体		155 団体	36.4%	13	12.9%	44	23.5%	9	
			市民一人当たり都市公園面積	6.5 m <sup>2</sup>	8.14 m <sup>2</sup>	8.20 m <sup>2</sup>		7.0 m <sup>2</sup>							
	河川・港湾の整備	B+	防潮堤整備による浸水（床上下）棟数の解消【H24設定】	39.8 % (H23)	62.5 %	64.7 %		75.1 %	24.5%	39	14.1%	39	10.4%	32	
			浸水（床上下）棟数	6,692 棟 (変更)	10,122 棟	10,471 棟		12,157 棟 (変更)							
	下水道・合併処理浄化槽の整備	B+	汚水処理人口普及率	75.9 %	84.9 %	86.4 %		88.0 %	29.8%	24	16.4%	29	13.4%	23	
			雨水対策整備済面積	2,793.1 ha	2,834 ha	2,844 ha		2,900 ha							
	水を大切にすまちづくり	A	水の循環利用と節水の推進	再生水利用施設数	52 施設	61 施設	68 施設		70 施設	28.6%	29	15.3%	35	13.3%	24
				1人1日当たりの平均水道使用量	321 l	301 l	306 l		306 l (変更)						
A		安全で安定した水道水の供給	自己処理水比率	42 %	43.7 %	43.2 %		48.0 %	41.7%	6	10.6%	50	31.1%	5	
水質苦情件数	43 件/年	46 件/年	20 件/年		20 件以内/年										
安全で安心して暮らせる環境の整備	A	消防体制の整備	住宅火災件数	52 件/年	32 件/年	40 件/年		40 件以下/年	43.6%	4	3.4%	60	40.2%	2	
			心肺機能が停止していた人に対して応急処置を実施した率	25.08 %	31.2 %	33.0 %		33.0 %							
	B+	危機管理体制の整備	自主防災組織の組織率	38.09 %	40.0 % (H26)	— %	—	— %	29.8%	24	18.5%	25	11.3%	30	
			自主防災組織の活動カバー率【H24設定】	70.1 % (H23)	100 %	100 %		100 %							
	B+	防犯対策の推進	地域の防犯パトロール車に設置する青色回転灯の数	1 個	46 個	79 個		92 個	29.5%	27	22.7%	10	6.8%	38	
	B	生活衛生の向上	食中毒発件数	7 件/年	4 件/年	1 件/年		0 件/年	22.2%	45	9.6%	53	12.6%	26	
食品に関する苦情件数			151 件/年	209 件/年	115 件/年		100 件以内/年								
B	交通安全対策の充実	交通安全教室の参加者数	44,829 人/年	47,583 人/年	48,200 人/年		48,500 人/年	28.5%	30	24.6%	7	3.9%	43		
		交通事故発件数	6,267 件/年	4,274 件/年	4,855 件/年		4,755 件以下/年 (変更)								
B	消費者の権利保護と自立促進	架空請求に関する相談件数	847 件/年	291 件/年	160 件/年		160 件/年 (変更)	17.5%	54	10.9%	49	6.6%	39		
健やかにいきいきと暮らせるまち	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	家庭・地域における子育て支援	B	地域子育て支援拠点事業（ひろば型）利用者数（旧つどいの広場事業）	18,528 人/年	54,122 人/年	25,000 人/年		25,000 人/年						

施策体系			平成27年度（H26決算分）評価結果					市民満足度調査結果（H26）							
まちづくりの目標	政策	施策	総合評価	成果目標達成度					満足度		不満足度		満足度と不満足度の比較		
				目標項目	第5次総合計画策定時（H19）	最新値（H26）	年度目標値（H26）	年度目標値に対する達成度	最終目標値（H27）	満足度	（順位）	「不満足度」	（順位）	「満足度」－「不満足度」	（順位）
健康やかに暮らせる環境づくり				生後4か月までの全戸訪問（こんには赤ちゃん事業）実施率	22 %	91.7 %	100.0 %		100 %	27.0%	34	25.9%	4	1.1%	49
				自立支援プログラム利用による就労件数	－ 件/年	94 件/年	60 件/年		60 件/年						
				ブックスタート実施率	89.1 %	93.8 %	92.0 %		92.0 %						
		子育てと仕事の両立支援	B－	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	－ 件/年	5,334 件/年	7,500 件/年		8,000 件/年	26.6%	36	26.3%	3	0.3%	51
				放課後子ども教室登録児童数	－ 人/年	2,634 人/年	5,000 人/年		5,000 人/年						
		健康やかに暮らすための健康づくり	B－	食育に関心を持っている人の割合	男性 66.0 %	83.9 %	90.0 %		90 %	41.8%	5	13.1%	42	28.7%	6
					女性 84.7 %										
				がん検診受診率	男性 32.6 %	24.9 %	50.0 %		50 %						
					女性 44.5 %										
	医療体制の充実	B＋	市民病院のサービス等に関する患者の総合的な満足度	92.2 %	95.2 %	98.0 %		100 %	38.7%	9	21.4%	13	17.3%	19	
定例立入検査時の法令違反医療施設数			100 施設/年	63 施設/年	70 施設/年		70 施設以下/年								
社会保障制度の適切な運営	B＋	介護サービス利用者数	14,634 人/月	20,343 人/月	21,909 人/月		18,600 人/月	22.4%	44	23.5%	8	-1.1%	55		
			いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり	みんなで支え合う地域福祉の推進	A	災害時援護者台帳登録候補者の登録率【H23設定】	24.8 % (H22)	19.6 % (H23)	－ %	－ %	20.9%	49	17.0%	28	3.9%
災害時援護者台帳登録候補者の新規登録率【H25設定】	17.6 % (H24)	18.3 %	20.0 %				20.0 %								
	障害者の自立支援と社会活動への参加の促進	A	訪問系サービス利用量	10,528 時間/月	15,619 時間/月	14,482 時間/月		14,870 時間/月	21.2%	47	14.6%	37	6.6%	39	
			移動支援事業利用量	3,485.5 時間/月	4,850 時間/月	4,497 時間/月		4,590 時間/月							
			日中活動系サービス利用量	2,970 人日/月	27,618 人日/月	26,590 人日/月		26,590 人日/月							
	高齢者の生活支援と社会活動への参加の促進	B－	シルバー人材センターの会員数	1,673 人	1,865 人	1,937 人 (H26)		2,002 人 (変更)	27.0%	34	21.2%	15	5.8%	41	
			生活困窮者の自立支援	B＋	対象者に対する自立達成者数の割合	5 %	53.9 %	50.0 %		50.0 % (変更)	16.6%	55	21.0%	16	-4.4%
人がにぎわい活力あふれるまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興	地域性豊かな特色ある観光資源の創造	B－	主要観光地の入込み客数	6,491 千人/年	6,502 千人/年	7,350 千人/年		7,500 千人/年	40.4%	7	19.4%	22	21.0%	15
				主要イベント入込み客数	1,608 千人/年	966 千人/年	1,650 千人/年		1,720 千人/年						
		観光客誘致・交流の推進	B－	観光ボランティア案内件数	1,781 件/年	1,840 件/年	2,050 件/年		2,050 件/年	31.4%	22	19.6%	19	11.8%	27
	観光ホームページのアクセス件数			2,201,230 件/年	1,714,483 件/年	2,450,000 件/年		2,500,000 件/年							
	コンベンション参加者数			84,294 人/年	100,195 人/年	90,000 人/年		97,000 人/年							
	地域を支える産業の振興・地域経済の活性化	商工業の振興と地域経済の活性化	B	中央商店街の空き店舗率	18.10 %	17.5 %	14.8 %		14.2 %	21.1%	48	20.3%	17	0.8%	50
				中心市街地の小売業年間商品販売額	1,049.84 億円	813 億円 (H25)	－ 億円	－	－ 億円						
		農林水産業の振興	B－	農産物の販売額	54.35 億円	38.2 億円	55.7 億円		56 億円	23.1%	43	16.1%	31	7.0%	37
				森林施業計画面積	2,650 ha	453 ha	453 ha		2,750 ha						
	特産品の育成・振興とブランド化の推進	B－	重要稚仔放流数（栽培漁業種：クルマエビ、ヒラメ、ガザミ）	125 万尾/年	80 万尾/年	106 万尾/年		130 万尾/年	36.7%	11	13.2%	41	23.5%	9	
高松ブランドの認定数	－ 件	0 件	0 件		16 件										

施策体系			平成27年度（H26決算分）評価結果							市民満足度調査結果（H26）						
まちづくりの目標	政策	施策	総合評価	成果目標達成度					満足度		不満足度		満足度と不満足度の比較			
				目標項目	第5次総合計画策定時（H19）	最新値（H26）	年度目標値（H26）	年度目標値に対する達成度	最終目標値（H27）	満足度	（順位）	「不満足度」	（順位）	「満足度」－「不満足度」	（順位）	
	安定した魅力ある就業環境づくり	就業環境の向上	B-	子育て支援中小企業表彰企業数	6 企業	41 企業	43 企業		50 企業	13.4%	58	27.8%	2	-14.4%	60	
	人が行きかう多彩な交流の促進	国際化への対応と地域間交流の推進	B+	財団法人高松市国際交流協会の国際交流ボランティア登録者数	128 人	169 人	218 人		230 人	19.5%	51	11.3%	47	8.2%	36	
道州制時代に中核拠点性を担えるまち	拠点性を発揮できる都市機能の形成	拠点性を高める交通網の整備	A	国内定期路線数（季節運行を除く）	2 路線	3 路線	3 路線		5 路線	28.4%	31	23.0%	9	5.4%	42	
				国際定期路線数（季節運行を除く）	1 路線	3 路線	3 路線		2 路線							
				バス利用者数	4,908 人/日	4,619 人/日	5,300 人/日		5,300 人/日							
	中心市街地の活性化	B	中心市街地（中央商店街）の歩行者通行量（休日）	119,844 人	125,396 人	124,633 人		150,000 人	36.7%	11	19.3%	23	17.4%	18		
			中心市街地内の定住人口	20,385 人	20,592 人	20,839 人		21,700 人								
			中央通り沿いオフィスの空室率	15.8 %	10.8 %	17.3 %		12.4 %								
	快適で人にやさしい都市交通の形成	公共交通の利便性の向上	B	公共交通機関利用者数	57,818 人/日	58,838 人/日	60,900 人/日		62,000 人/日	32.1%	20	30.9%	1	1.2%	48	
				自転車利用の環境づくり	B+	レンタサイクルの利用件数	265,000 件/年	306,580 件/年	286,000 件/年		286,000 件/年	33.1%	18	22.7%	10	10.4%
	計画的な市街地の形成	適正な土地利用の推進	B+	都市計画区域内の大規模集客施設新規立地可能面積の割合	36 %	3.0 %	3.0 %		3.0 %	11.7%	60	25.8%	5	-14.1%	59	
				地域における拠点性の確保	B-	太田第2土地区画整理事業区域内の居住人口【H23設定】	18,535 人（H22）	20,000 人	27,000 人		27,000 人	18.9%	52	19.5%	21	-0.6%
太田第2土地区画整理事業区域内の宅地化率【H23設定】						76.84 %（H22）	79.4 %	83.6 %		83.6 %						
ことでん仏生山駅の一日平均乗降客数【H24設定】						3,053 人（H23）	2,964 人	4,000 人		4,000.0 人						
地域に即した都市景観の創出	B+	大規模建築物等の届出適合率【H23設定】	78 %（H22）	100.0 %	90.0 %		100.0 %	25.9%	37	15.4%	34	10.5%	31			
高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	地域情報化の推進	A	ウルトラブロードバンド（上り20Mbps程度以上）の世帯カバー率	80 %	99.1 %	99.1 %		100 %	20.2%	50	17.6%	26	2.6%	47		
			視聴可能エリアカバー率	78.1 %	95.9 %	95.9 %		100 %								
分権型社会にふさわしいまち	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	地域コミュニティの自立・活性化	B	地域コミュニティ人材養成事業参加者数	100 人/年	313 人/年	300 人/年		300 人/年（変更）	29.8%	24	14.4%	38	15.4%	21	
				多様なパートナーシップによるまちづくり	B-	NPOとの協働事業数	71 事業	128 事業	83 事業		85 事業	14.8%	56	14.8%	36	0.0%
	市政出前ふれあいトークの延べ参加人数	7,546 人/年	20,724 人/年			21,300 人/年		21,300 人/年（変更）								
	社会の変革に即応した行財政運営	簡素で効率的な行財政システムの構築	B	市債残高	1,528 億円	862 億円	1,000 億円		1,000 億円以下	12.8%	59	19.9%	18	-7.1%	58	
				財政調整基金残高	85 億円	141 億円	85 億円		85 億円以上							
さわやかサービスの推進（市民アンケートの満足度）				59.7 %	59.0 %	75.0 %		80.0 %								
連携の推進	A	大学と連携して行う事業数	1 事業	38 事業	30 事業		36 事業	23.4%	42	10.4%	51	13.0%	25			



第6次高松市総合計画施策体系(案)

※右側で第6次計画の施策体系(案)を示し、左側に、第5次ではどのような配置であったかを示した。

まちづくりの目標		政策		施策		まちづくりの目標		政策		施策			
第5次目標	新目標(案)	第5次政策	新政策(案)	第5次施策	No.	新施策(案)							
3 健やかにいきいきと暮らせるまち	1 健やかにいきいきと暮らせるまち	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	家庭・地域における子育て支援	311 32	32 子どもの成長への支援	2 人と環境にやさしい安全で住みよいまち	4 安全で安心して暮らして続けられるまち	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	環境保全活動の推進	211 14	26 消防・救急の充実強化
		健やかに暮らせる環境づくり	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	子育てと仕事の両立支援	312 33	33 子育て家庭への支援			豊かな暮らしを支える生活環境の向上	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	ごみの発生抑制・減量・リサイクルの推進	212 15	27 防災・減災対策の充実
		いきいきと共に暮らせる福祉環境づくり	健康で元気に暮らせる環境づくり	健やかに暮らすための健康づくり	321 34	37 地域福祉の推進			水を大切にすまづくり	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	一般廃棄物の適正処理の推進	213 16	30 交通安全対策の充実
1 心豊かな人と文化を育むまち	2 心豊かで未来を築く人を育むまち	基本的な人権を尊重する社会の確立	男女共同参画社会の形成	子育てと仕事の両立支援	322 35	39 地域包括ケアシステムの構築	1 心豊かな人と文化を育むまち	2 心豊かで未来を築く人を育むまち	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	安全で安心して暮らせる環境の整備	産業廃棄物の適正処理の促進	214 17	28 防犯体制の整備
		男女共同参画社会の形成	社会を生き抜く力を育む教育の充実	医療体制の充実	323 36	38 障がい者の自立支援と社会参加の促進			安全で安心して暮らせる環境の整備	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	不法投棄の防止	215 18	29 生活衛生の向上
		生きる力を育む教育の充実	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	医療体制の充実	322 35	40 生活困窮者等への自立支援			安全で安心して暮らせる環境の整備	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	居住環境の整備	221 19	31 消費者の権利保護と自立促進
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	心豊かな生涯学習社会の形成	基本的人権を尊重する社会の確立	社会保険制度の適切な運営	323 36	34 健康づくりの推進	4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	みどりのまちづくり	222 20	14 ごみの減量と再資源化の推進
		魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)(c)	みんなで支え合う地域福祉の推進	331 37	35 医療体制の充実			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	河川・港湾の整備	224 22	15 廃棄物の適正処理
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	障害者の自立支援と社会活動への参加の促進	332 38	36 社会保障制度の適切な運営			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	下水道・合併処理浄化槽の整備	225 23	16 不法投棄の廃止
1 心豊かな人と文化を育むまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	高齢者の生活支援と社会活動への参加の促進	333 39	35 医療体制の充実	4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	水の循環利用と節水の推進	231 24	17 地球温暖化対策の推進
		人が行きかう多彩な交流の促進(d)	訪れたくなる観光・MICEの振興(a)	高年齢者の生活支援と社会活動への参加の促進	334 40	36 社会保障制度の適切な運営			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	安全で安定した水道水の供給	232 25	18 環境保全活動の推進
		心豊かな生涯学習社会の形成(e)	国際・国内交流の推進と定住の促進	生活困窮者等への自立支援	334 40	36 社会保障制度の適切な運営			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働で進めるコミュニティを軸としたまちづくり	消防体制の整備	241 26	19 居住環境の整備
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	地域に根ざした文化芸術の創造と振興(f)	国際・国内交流の推進と定住の促進	子どもの安全確保	135 8	10 生涯学習の推進	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	消火体制の整備	242 27	20 身近な道路環境の整備
		魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	学校教育の充実	131 4	8 子どもの安全確保			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	危機管理体制の整備	242 27	22 河川・港湾の整備
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	訪れたくなる観光・MICEの振興(a)	学校教育環境の整備	132 5	7 青少年の健全育成			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	防犯対策の推進	243 28	21 みどりの保全・創造
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	家庭教育の向上	133 6	6 家庭・地域の教育力の向上	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	生活衛生の向上	244 29	24 水の安定供給
		人が行きかう多彩な交流の促進(d)	訪れたくなる観光・MICEの振興(a)	青少年の健全育成	134 7	9 大学等高等教育の充実			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	交通安全対策の充実	245 30	25 汚水・雨水対策の充実
		心豊かな生涯学習社会の形成(e)	国際・国内交流の推進と定住の促進	大学の健全育成	134 7	9 大学等高等教育の充実			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	消費者の権利保護と自立促進	246 31	
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	地域に根ざした文化芸術の創造と振興(f)	国際・国内交流の推進と定住の促進	子どもの安全確保	135 8	10 生涯学習の推進	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	511 50	54 多核連携型コンパクト・エコシティの推進
		魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	高等学校の充実	136 9	1 人権尊重意識の普及・高揚			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	中心市街地の活性化	512 51	56 景観の保全・形成・創出
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	訪れたくなる観光・MICEの振興(a)	生涯学習の推進	141 10	2 平和意識の普及・高揚			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	公共交通の利便性の向上	521 52	52 公共交通の利便性の向上
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	商工業の振興	411 41	43 商工業の振興	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	自転車利用の環境づくり	522 53	53 自転車の利用環境の向上
		人が行きかう多彩な交流の促進(d)	訪れたくなる観光・MICEの振興(a)	農林水産業の振興	421 43	45 農林水産業の振興			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	適正な土地利用の推進	531 54	50 拠点性を高める交通網の整備と利用促進
		心豊かな生涯学習社会の形成(e)	国際・国内交流の推進と定住の促進	観光客誘致・交流の推進	412 42	46 特産品の育成・振興とブランド力の向上			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	地域における拠点性の確保	532 55	55.5 拠点性を高める道路ネットワークの整備
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)	就業環境の充実	422 45	47 就業環境の充実	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	地域に即した都市景観の創出	541 56	51 中心市街地の活性化
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	商工業の振興と地域経済の活性化	421 43	46 特産品の育成・振興とブランド力の向上			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	計画的な市街地の形成	541 56	
		安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	農林水産業の振興	422 45	47 就業環境の充実			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	魅力ある都市空間の形成	541 56	
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)	文化芸術の振興	423 46	12 文化芸術の振興	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	551 57	58 地域コミュニティの自立・活性化
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	特産品の育成・振興とブランド力の推進	423 46	13 文化財の保存・活用			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	計画的な市街地の形成	551 57	
		安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	国際化への対応と地域間交流の推進	441 48	13 文化財の保存・活用			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	魅力ある都市空間の形成	551 57	
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)	スポーツ・レクリエーションの振興	142 11	11 スポーツの振興	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	多様なパートナーシップによるまちづくり	611 58	59 参画・協働の推進
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	文化芸術活動の推進	151 12	41 観光客受入環境の整備			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	計画的な市街地の形成	611 58	
		安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	文化芸術を創造する環境づくり	152 12	42 観光客誘致の推進			高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	魅力ある都市空間の形成	611 58	
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)	文化財の保存と活用	153 13	48 国際・国内交流の推進	5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	多様なパートナーシップによるまちづくり	612 59	49 離島の振興
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	計画的な市街地の形成	612 59	
		安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	魅力ある都市空間の形成	612 59	
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)	移住・交流の促進			5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	簡素で効率的な行政システムの構築	621 60	61 連携の推進
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	計画的な市街地の形成	621 60	
		安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	魅力ある都市空間の形成	621 60	
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)	移住・交流の促進			5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	連携の推進	622 61	60 職員の向上
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	計画的な市街地の形成	622 61	
		安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	魅力ある都市空間の形成	622 61	
4 人がにぎわい活力あふれるまち	3 産業の活力と魅力にあふれる創造性豊かなまち	魅力あふれる観光・コンベンションの振興(a)	地域を支える産業の振興と経済の活性化(b)	移住・交流の促進			5 道州制時代に中核都市としてふさわしいまち	5 環瀬戸内海の中核都市としてふさわしいまち	高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	国際化への対応と地域間交流の推進	441 49	60 効率的で効果的な行政運営の推進
		地域を支える産業の振興・地域経済の活性化(b)	文化芸術の振興と発信(f)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	計画的な市街地の形成	441 49	
		安定した魅力ある就業環境づくり(c)	元気を生み出すスポーツの振興(e)	移住・交流の促進					高度情報通信社会に対応できる拠点機能の強化	参加・協働によるコミュニティの再生	魅力ある都市空間の形成	441 49	

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第1回高松市総合計画審議会
日 時	平成27年9月7日(月) 19時45分～20時40分
開催場所	高松市役所 13階 大会議室
議 題	(1) 第6次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員 (22名)	佃会長、野田副会長、上田委員、上原委員、国見委員、 桑井委員、桑村委員、坂口委員、佐野委員、白薊委員、 鈴木委員、高嶋委員、竹内委員、徳倉委員、中橋委員、 西岡委員、原委員、藤本委員、古川委員、眞鍋委員、柳 委員、頼富委員
傍 聴 者	2人 (定員10人)
担当課及び連絡先	政策課 839-2135

## 会議の経過及び結果

会議の冒頭、市長の挨拶の後、市長から総合計画審議会会長へ諮問文書を渡し、議事に移った。

## (1) 第6次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について

事務局から、総合計画基本構想の原案について説明し、委員から意見をもらう。

## (委員)

先日、素案に対しパブコメでも意見を出しているが、具体的にどのように反映されたのか見えないところがある。また、全体でパブコメに対する意見はどれくらいあったのか。パブコメに対する意見の整理の仕方を確認したい。

## (事務局)

総合計画の素案についての意見は38件頂いている。本来ならば本日までにホームページなどで対応についてお示しする予定だったが、作業が遅れている。なるべく早く公表したい。原案に対するパブリックコメントについても、本日から10月2日までの間で実施する。

## (委員)

非常に大きな計画なので、細部について言うときりがないと思う。まずは目標のところが一番の基本になるかと思うので、この部分について少しお話しさせていただく。

目標が出ると、往々にして文化・芸術・教育・福祉とどれもお金を使うものばかりで、それに対しての財源確保が今までの総合計画も含めて、盛り込みが薄かったのではないかと思う。人口減というのは社



## 会議の経過及び結果

会に対してもものすごく大きな影響を与えると思う。そのため、今までになかった、もう少し踏み込んだ第6次の総合計画を期待している。市長もよくクリエイティブシティと言われるが、芸術文化が産業になっていくといった、そういった踏み込んだ計画が出来上がると、これからの人口減という社会変化に対応できる、今までを超える計画になると思う。

(委員)

個別に施策を見ると、市がこれまで取り組んでいるような事業がほとんどのような気がする。来年度以降、新たな総合計画の中で、新たな内容が追加されたら良いと思う。

(委員)

総合計画の推進の中で、第5次の段階ではPDCAができているのか。項目が多いが、第5次と同じ項目のものが入っていると思われる。内容としては第5次とは違うものになっていると考えて良いのか、そのまま第5次を引き継いでいるものも多いのかお聞きしたい。

(事務局)

総合計画は本市の施策を網羅的に定めたものである。第6次の計画は、現行の第5次からの継続性を考えて作成している。そういった点で、現行の総合計画と同じ項目もある。施策ごとに記載している取組方針が、次年度からの8年間で実施していくことであり、現行の項目もあるし、新たな取組の記載もある。成果指標はそれに合わせて見直し、同じ指標を用いているところもあるし、新たな指標を設定しているものもある。

(オブザーバー)

県も総合計画(素案)を示しているが、従来の縦割りの施策展開ではなく、多分野連携型の施策展開、或いは市長さんがおっしゃるような公的なサービスを産業化していく、というような政策ロジックの転換も考えながら、計画立案の段階からイメージをして作ってきたつもりなので、今後の策定の過程においても、県の計画を踏まえていただけたらと思っている。

(委員)

総合計画を確認したところ、網羅的な内容になっていると思う。この中で、様々な課題を踏まえた上で、この8年間はここを重点的に力を入れていきたい、というところをある程度、明確にさせていただくと考えやすいし、市民にもアピールするものとなる。

例えば女性活躍推進など、部分的にしか触れられていないが、全部の分野にわたる大きなテーマになってくる。男性と女性の文化の熟成を全ての分野においてしなければ、少子高齢化も解決していかないとと思う。

(委員)

二重行政や無駄にならないように、県や周辺市町との折り合いや横ぐしを入れるなど、連携を図って欲しい。

また、施策の実施には、財源が必要である。今回は8年の計画だが5年後、10年後の人口推移や財政の推移も入れて、実施すべき施策を絞り込む必要があると思う。

(委員)

今年は1,800万人くらいまでインバウンドが増えると思われるが、香川では、その1%にも満たない。香川で若干伸びるだけでもホテルは黒字になり、影響は大きい。観光は、宿にしても、食事にして

## 会議の経過及び結果

も、おもてなしにしても、公共交通機関にしても、総合的なところが良くなることで、お客様にもう一度香川に来てもらえる。そのような地に着いた話、高松市だけでない広域的な提言をしていければと思う。

JRの立場で、四国に新幹線を早期に入れたいと一生懸命やっている。一番のお膝元の高松市でも、それに対してどう考えるかという観点の表現が欲しいと思っている。

3点目が、エネルギーの問題が若干書いてあるが、太陽光の再生エネルギーをもっと充実すべきである。今後、蓄電池の技術が上がってくるので、香川県で太陽光で蓄電したエネルギーを地産池消も含め、どうあるべきか、といったところを踏み込んで書いていただくと良いと思う。

(委員)

自転車のレンタサイクル一つとっても、交通設備、放置自転車対策、レンタサイクルの設備充実などが書いてある。ヨーロッパや、日本だと富山や仙台ではスタンドタイプで、地上で簡単に借りられるタイプのレンタサイクルシステムが導入されている。

観光客からすると、現行の地下に入って手続きをしてレンタサイクルを借りるのでは、どうしてもハードルが高いので、まず予算が限られている中で見直すとしたら、港、商店街、市街地中心街といった、レンタサイクルで気軽に行けるような、バリアがないような形のレンタサイクルシステムが導入されると観光客も使いやすいと感じる。

(委員)

成果指標について、どれが新規、或いは継続か、次回までに明確にして欲しい。第5次での目標がどうで結果的にどうだったか、目標を超えたのか、それはどういう理由で超えたのか、超えなかったのはどういう理由なのかというのを具体的に我々も知った上で、第6次はどういう指標を設定していくのが良いのか、という話になっていくのではないか。継続する指標についても、現行計画の目標も示してもらえると、我々はもっと具体的に考えていけるのではないかと思う。

(委員)

先ほど、全部統合していけば幸せなまちになるのではないか、一つに統合することによって全てが解決するのでないか、というお話があったと思う。また、富める者も貧しき者も、文化を平等に共有するというお話があったと思う。何が幸せかについて、深い視点で見つめ、新しい価値観を見出すことが必要ではないか、今はそういう時代ではないかと思う。

(委員)

どれが新しい施策かを教えてもらいたい。私はPTAという立場で参加させてもらっている。小学校、中学校でも子育て支援や色々な問題を抱えているので、それらについて、今後、提案させていただきたいと思っている。

(会長)

総合計画は、高松市の最高位の計画であり、また8年かけて実施をしていくということで、やはり相当のブラッシュアップが必要である。高松は昔から歴史があり、温和で、皆さんの安心感が強く、釘が出ないようなことをずっとやってきたまちである。しかし、そこにすごいエネルギーを持っていると思う。

たくさんの釘を出していき、その上に高松市が乗っているという計

## 会議の経過及び結果

画にしていくと分かりやすいと思う。良いものが数多くあるが、形にならなかつたり、見える化できなくて、やっぱり釘は打たれたままという感じである。釘になれるようなものがいくつ出てきて、それで高松市が浮き上がってきて、子どもたちも住みたいと思う、そのような計画が皆さんの力でできればありがたい。その釘を一つ一つ皆さんの意見としてまとめれば、それなりに今とは違った計画になる。それが、重厚な計画になり、高松の良さを出しながら将来に結びついていくと思う。

## (2) その他

## (事務局)

第2回目は9月25日(金)を予定している。次回は、基本構想の中で、全ての施策を6つに分類した、まちづくりの目標ごとに分かれ、御意見をいただければと思う。その際、幹事である局長も入る予定である。

お手元にお配りしている資料7の意見用紙にまず、気が付いた点を記入いただきたい。

## (閉会)